

6-2. 比喩（動物）

聖書に書いてあることは聖書で解かなければならない

〈イザヤ書 34 : 16〉 p.989

あなたがたは主の書をつまびらかにたずねて、これを読め。…

『くまばち』

〈出エジプト記 23 : 28〉 p.108

わたしはまた、くまばちをあなたの先につかわすであろう。…

→神様がモーセを通してイスラエルの人々に語られた言葉。

〈申命記 7:20〉 p.257

あなたの神、主はまた、くまばちを彼らのうちに送って…

→神様はイスラエルにくまばちを送って、力ある七部族を滅ぼしつくすと言ったのか？

＜蜂の性質＞

- ・ 群れる（＝組織的）
- ・ 働き者
- ・ 統率力（＝ヨシュア中心）
- ・ 蜂蜜（＝御言葉）
- ・ 女王蜂に忠誠を尽くす（女王蜂は貴重なローヤルゼリーで以って育てる）
- ・ 一匹では生きられない etc…

〈出エジプト記 17 : 8～13〉 p.99

…モーセはヨシュアに言った、「われわれのために人を選び、出てアマレクと戦いなさい。…

→モーセはヨシュアに戦いを命じていた。戦いにはヨシュアを戦場に送った。

〈マタイによる福音書 13 : 24〉 p.21

…譬で群衆に語られた。…

∴くまばちはヨシュアの軍隊

『虫』

〈イザヤ書 41 : 14〉 p.999

…虫にひとしいヤコブよ、…

→アブラハム→イサク→ヤコブ（イスラエル）→

イスラエルは小国で、エジプト、アッスリヤ、バビロンなど強国に囲まれていた。

〈詩篇 22 : 6〉 p.765

しかし、わたしは虫であって、人ではない。人にそしられ、民に侮られる。

→詩篇はダビデの歌で、この部分はダビデが自分を卑下した歌

∴弱いものを虫といった。

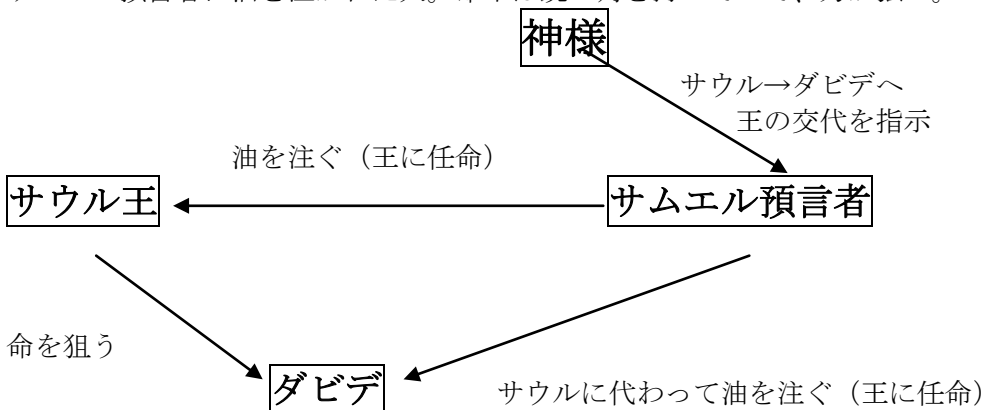
Ex.)虫ケラのように踏み躪った。

注：ヤコブやダビデが何故虫ケラのように弱い者だと言っているかは聖書読して確かめよ。

『雄牛』

〈詩篇 22 : 12～13〉 p.765

→詩篇を書いたダビデは羊飼いで、琴がじょうずで、勇気もあり、いくさびとで、弁舌にひいで、姿の美しい人で、サムエル預言者に油を注がれた人。雄牛は鋭い角を持っていて、力が強い。



∴バシヤンの強い雄牛はサウル王とその軍隊

『犬・豚』

〈詩篇 22 : 16〉 p.765

まことに、犬は私をめぐり、…

〈ペテロ第二の手紙 2 : 22〉 p.374

ことわざに、「犬は自分の吐いた物に帰り、…

→犬は一度吐いた物を再び食べる。

∴犬はサウルのように過ちを繰り返す人

〈ヨハネの黙示録 22 : 15〉 p.409

犬ども、…はみな、外に出されている。

→犬のような性格の人は天国に入れない。

〈ピリピ人への手紙 3 : 2〉

〈箴言 26 : 11〉

〈サムエル紀上 26〉

〈黙示録 22 : 15〉

〈イザヤ 56 : 9~12〉

〈マタイによる福音書 7 : 6〉 p.9

聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな。…

→御言葉を犬のような者にあげてはいけないし、豚のような、価値のわからない者にあげてもいけない。

〈ペテロ第二の手紙 2 : 22〉 p.374

…豚は洗われても、また、どろの中にくろがって行く」…

〈箴言 11 : 22〉 p.893

美しい女の慎みがないのは、金の輪の、ぶたの鼻にあるようだ。

∴豚は価値のわからない人

『鷲』

イザヤ 46 : 11

鳥類の王。高いところから全体を把握する。

『鹿』

〈詩篇 42 : 1〉 p.784

谷川の水（=御言葉）を慕い求める者。神様から見て愛らしい人。

『狐』

〈ルカによる福音書 13 : 31~32〉 p.113

ヘロデ王=狐

ヘロデは御子が生まれたから拝みにいくように博士らを送ったが、それは御子を殺すための策略だった。

狐は死体を食べたり、飼っている鶏を食べたりする。大事にしていたものを奪う。だます。ずるがしこい。

狐は嫌なおいがする。罪を犯したら罪のにおいがする。

イザヤ 13 : 4~7

『ろば』

〈エゼキエル書 23 : 1~20〉 p.

姦淫していたイスラエルを指す。ろばや馬は精力が強いといわれている。

『その他』

〈イザヤ書 11 : 1~9〉 p.957

おおかみは子羊と共に宿り、ひょうは子やぎと共に伏し…

Cがきたらこうなると書いてあるが、本当にそうなると思うか？そうなるとう食物連鎖が崩れる。昔あったものは今もあり、昔無かったことは今も無い。→比喻

〈創世記 49 : 1〉 p.70

ヤコブは死ぬ前に子どもたちを呼んで預言した。

〈創世記 49 : 9〉 p.71

ユダはししの子→雄々しい

〈創世記 49 : 14〉 p.71

イッサカルはたくましいろば→丈夫、働き者、孤独

〈創世記 49 : 17〉 p.71

ダンは道のかたわらのへび→ずるがしこい、人間に害を与える、悪事をする

〈創世記 49 : 21〉 p.71

ナフタリは放たれた雌じか→言葉や行いが美しい、愛らしい、鹿の角は漢方薬に使われるなど有益

〈創世記 49 : 27〉 p.71

ベニヤミンはかき裂くおおかみ→凶暴、人に害を与える、残忍

※動物は人のたとえ

ペテロの第二の手紙 3 : 16

無理に解釈すると滅亡を招く。正しい解釈を教えてくれるのがキリスト。

〈ローマ 8 : 19~22〉 p.243

万物は神の子の出現を待ち望んでいる。キリストが持ってくる真理には万物の治める方法もある。環境問題に関しても真理がないと治められない。